道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

松本の宮坂さんから1981年のモンテカルロラリーに出た時のお宝を頂きました！お洒落なのでカフェ看板の一部に♪

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

例年より寒さが厳しかった冬が終わり、3月末に一気に芽吹いてきた信州。バイク仲間は「杏だ」「桜だ」と花を追うミツバチのようにツーリングしているようですが、私はスノボシーズン後、休日も平日も家の〝とある仕事〟で忙殺される日々。昨年8月から始まった築160年の古民家暮らし。晩秋に始まったプラスチック板とカーテン攻撃の防寒対策がようやく撤去となるのと同時に、「Xディ」の4月24日がやってくるからです。確かに私は夢を見ました。新潟は十日町の建築デザイナー、カール・ベンクスさんのように和洋が絶妙のハーモニーを奏でる古民家にしたいなあと。直接お会いできてお話聞けたのも何かのご縁と思えました。でも、改築には新築と同じ、もしくはそれ以上の労力と費用がかかります。それだけのパワーはない！でも、いいな～と思っていたら、別の形でそれがやってきました。

長年に渡って仕事だけでなくパリダカール・ラリーやトレイルランニングを応援してくださったTさんが、現役（会社代表）を引退するのと同時に家をいくつか処分するとのことで、都内にあった家具たちを無償で下さるというのです。「どれか欲しかったら言ってください」と送られてきた写真を見て驚愕。長年かけて集められたヨーロッパやアメリカのそれらは、驚くほど古民家にぴったりで、何より気品と個性に溢れており、素直に「ぜんぶ欲しい♪」と思ってしまいました。結果、Xディが決まり、頭の中で妄想が始まりました。本棚、デスク、テーブル、キャビネット、チェスト、テレビと台、ベッド、チェアーや天井照明、カーテンにラグにカラトリー。大きな家具だけで10もあり、2トントラック2台分。リサイクルボックスにでやってくるらしいので、単純に置く場所を確保するためには2トンのものを動かさねばなりません。使ってないけれど愛着があって捨てられない様々なグッズの断捨離を始めると、芋蔓式で片付けねばならない場所がどんどん出てきて、まるでパズル！毎日片手にメジャーを持って常に何かを動かす毎日でした。

この引越しにも匹敵する片付けは、再び人生のあり方を問うものでした。本棚とテレビ台はカフェに行くことになったので、まず始めたのはカフェ本棚の整理。リサイクルボックスに持ちこむこと毎日50冊。一生自分の傍に置いておきたかったサン・テグジュペリやSF小説は何度か悩んだものの、サヨナラ～。自分のターニングポイントにヒントをくれた単行本たちはカフェの能登チャリティーコーナーに並び、いろんな人の手に渡りました。持つ喜びの時代ではないのか（家具は貰うけれど）、捨てられないと思っていたのに意外とできた自分にビックリ。家では服や紙モノなどの点検が多かったのですが、夫は工具や道具コーナーを担当し、二人で毎日遅くまで自分の過去と向き合うことに。18歳から50年分の仕事ファイルは、「捨てる！」と思って開いたら、あまりに健気に頑張っている自分がいて、可哀想で捨てられませんでした（せめて全部読んでから？）。

春なので、同時に庭の剪定やガーデニング小屋の整理も始めました。こちらは保存物が多かった土蔵を整理するよりさらに大掛かり。建物は家で使っていた歴代のガラス戸を再利用したものなので、30枚ほどのそれらは経年劣化で崩壊寸前。ジャングルの中からは大家さんのお父様がやられていたであろう農業や園芸グッズがギッシリ。丹念に手入れされていたであろう道具たち、植木鉢（一千個！）、腐りかけの園芸ポール（500本！）、なども処分させて頂きました。とにかく作業はエンドレス。どこかでこの感覚と思ったら、以前住んでいた家の大きな納屋も10年かけて整理&処分したのでした。その前の朝霧の廃墟でも同じだったので、広い田舎ではよくあること。片付けるのは売却でもない限り当人は難しい派。かつて主催者だった富士山麓のトレイルランニングでも、道作りはイコールゴミ拾いだったので、慣れたもの。

そういえば、18歳での日本一周ツーリングの時、私は決心したのでした。当時の日本はどこへ行っても不法投棄ゴミが多かったので、「おバアさんになったら日本中の海岸のゴミを拾って旅するぞ！」と。結局おバアさんにならずとも半世紀ずっと片付け続けているので、これも思えば叶う？でも…やっと2トンの置き場が出てきた今日、夫がニコニコと注文していたのは、ぶら下がり健康機。実は私も使いたかったので、許せん！とは思わなかったけれど、捨てれば入ってくる方程式の結果は、果たしてどういうカタチになるのでしょう。あと2週間でXディ♪

土蔵の前の3つのガーデニング小屋を大掃除。お父上が心血を注いだという花づくりの跡に想いを馳せました。バイク小屋にしたいな～。

不要なもの（剪定枝も）はリサイクルかクリーンセンターに。近くでも野焼きによる火事が相次いだので、要注意。

春一番のハクモクレン。桜が咲く頃には草刈りも始まります。今年は樹木の剪定も頑張るぞ～っ！田舎暮らしはやることエンドレス。

樹齢500年の天然木のオブジェ（とっこ）を手動で移動。かつては鉢植えの蘭がズラリと並んで壮観だったという南の廊下、防寒対策のカーテン分かるかな？

バイクに惚れた松本のちかちゃんは、18歳の夜間高校生。働いて買ったハーレーで、もう日本を半分旅したとか。同じ年齢の時にゴミ拾いを誓ったのね、私♪

九州の散歩道

「日本のアンデルセン」を生んだ町

フリージャーナリスト　湯浅玲子

大分県の玖珠（くす）町には面白い民話が語り継がれています。昔、この地に本一周ツーリングの時、私は決心したのでした。当時の日本はどこへ行っても不法投棄ゴミが多かったので、「おバアさんになったら日本中の海岸のゴミを拾って旅するぞ！」と。結局おバアさんにならずとも半世紀ずっと片付け続けているので、これも思えば叶う？でも…やっと2トンの置き場が出てきた今日、夫がニコニコと注文していたのは、ぶら下がり健康機。実は私も使いたかったので、許せん！とは思わなかったけれど、捨てれば入ってくる方程式の結果は、果たしてどういうカタチになるのでしょう。あと2週間でXディ♪

久留島武彦記念館で出迎えてくれるボード

巨大な鯉のぼりの中をくぐる体験ができる

孫で、明治・大正・昭和の時代を通じて子どもたちの教育に尽力しました。童謡「夕やけ小やけ」の作詞者であり、日本にボーイスカウトの活動を広めた一人でもあります。デンマークで開かれたボーイスカウト世界大会に参加した際に、アンデルセンの生家や墓が荒れ果てていることに心を痛め、行く先々でアンデルセンの復権を訴えました。このことからデンマークの人たちに「日本のアンデルセン」と呼ばれるようになったのです。また、写真を撮るときにピースサインをしたのも久留島武彦が最初だそうです。

玖珠町にある久留島武彦記念館では、人として生きていく上で必要な教えを、楽しい話にして子どもたちに語り聞かせた彼の功績を知ることができます。展示には映像、音声、人形劇などが使われて、大人から子どもまで楽しく学習することができます。

久留島武彦の功績を記念して、1950年に子どものための祭りとして始まったのが日本童話祭。毎年5月5日の子どもの日に開催されています。町内の2つの会場では、人形劇や紙芝居、木工教室、魚のつかみ取りなど家族で楽しめる遊びが盛り沢山。

とりわけ人気が高いのがジャンボ鯉のぼりのくぐり抜けです。それぞれの会場に黒鯉（60メートル）と赤鯉（35メートル）があり、中をくぐり抜けることができます。赤い鯉のぼりは全国各地へ出張することもあるので、何かのイベントで出会うことができるかもしれませんね。

（写真協力・ツーリズムおおいた）

道路交通情報

◇道路緊急ダイヤル　#9910
◇NEXCO東日本　http://www.e-nexco.co.jp/
◇NEXCO中日本　http://www.c-nexco.co.jp/
◇NEXCO西日本　http://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速　http://www.shutoko.jp/
◇阪神高速　http://www.hanshin-exp.co.jp/
◇本四高速　http://www.jb-honshi.co.jp/
◇日本道路交通情報センター　http://www.jartic.or.jp/

道路ニュースの宛名変更・発送停止について

○**宛名変更**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《変更後の住所》、《「社名」または「氏名」》、《宛名変更》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

○**発送停止**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《「社名」または「氏名」》、《発送停止》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

【宛名記載例】
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-1　尚友会館6F
全国道路利用者会議　様
No.0000　または　**U-00000**　1部

FAX　03-3501-5612
E-mail　the_road_news@road-jhuc.jp